



CENTRAL SPORTS

Business Report

第44期 株主通信

2013年4月1日～2014年3月31日



セントラルスポーツ株式会社

証券コード 4801

0歳から一生涯の 健康づくりに貢献する

当社グループは、
スポーツ健康産業のパイオニアとして、
40年以上にわたり、
「0歳から一生涯の健康づくりに貢献する」を
経営理念として、
乳幼児から高齢者の方たちも含めた
すべてのお客様にご満足いただける
質の高いサービスの提供に努めております。



ご挨拶

To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年4月1日付をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました後藤聖治でございます。1977年以来社長を務めてまいりました後藤忠治は、代表権のある会長となります。

昨今、お子様の習い事ニーズやシニア世代を中心とした健康志向の高まりにより、スポーツクラブが果たすべき役割はますます高まっております。多様化するお客様のニーズにお応えするクラブ運営、健康事業の運営を行い、「楽しいクラブライフ」をご提供し続けてまいります。

「健康」に関わるあらゆる事業の可能性を探求し、限りない挑戦と努力を続けてまいります。健康づくりを通じて未来にわたり社会貢献できる企業を目指して邁進してまいりますので、今後とも皆様方の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 後藤 聖治

当期の概況 *Financial and Operational Highlights*

■ 店舗数 >>>

2013年4月より業務受託1店舗(INGスポーツクラブ/愛知県小牧市)の運営を開始し、11月より介護予防型デイサービスの2店舗目となる「セントラルいきいきクラブ南鳩ヶ谷」、1月より新業態となる小型ホットスタジオ「スタジオヨガピス六甲道」をオープンいたしました。また、7月31日に株式会社明治より株式会社明治スポーツプラザの全株式を取得して子会社化し、同社の店舗(直営店7店舗、業務受託店18店舗)を追加いたしました。

退店については、直営店2店舗(カラーズ店、東香里店)、業務受託店7店舗の運営を終了いたしました。なお、当連結会計年度より、一層の店舗展開を図る意識強化を目的に店舗数の算出方法を改め、「直営」「業務受託」に加え「その他業態」を追加して算出した結果、当連結会計年度末の店舗数は、直営121店舗、業務受託61店舗、その他業態12店舗の合計194店舗となりました。

次期の店舗展開については、4月より業務受託4店舗の運営を開始し、以降も直営2店舗の出店を計画するなど、今後も大型店展開に限らず中小型店の出店や新規受託も積極的に推進し、更なる店舗ネットワークの拡大に努めてまいります。

■ 会員動向 >>>

新たに明治スポーツプラザの会員数が追加となり、全体としてはフィットネス会員、スクール会員とも前年を上回る水準で推移しております。

■ 店舗運営 >>>

お客様への指導サービス向上の取り組みとして、パーソナルトレーナー、ランニングアドバイザー、高齢者運動指導員などの社内資格取得強化を図り、スタッフの資質向上を行うとともに、「スムースモーション」「スネークウェイブ」「太鼓BEAT」などの新プログラムを16本導入し、お客様満足度の向上に努めました。

次期についても、4月より「けん玉フィットネス」「オフィスde美トレ」「ランニングコンディショニング」を含む計8本の新プログラムを導入するなど、時代のニーズを捉えたプログラムやサービスを開発して提供サービスの充実を図り、多くのお客様がスポーツに触れ、体験し、楽しんでいただけるよう努めてまいります。

■ 介護予防ビジネス >>>

フィットネス業界でいち早く取り組み、運動を取り入れたデイサービス施設の運営、市区町村や各事業者からの「地域支援事業」に対応するプログラムの提供を行っています。また、セントラルスポーツ研究所では、科学的分析により運動効果について検証を行い、各種プログラムに活かしています。

■ 新たな取り組み >>>

2013年10月より中四国地方で12店舗の総合フィットネスクラブ「フィッタ」を運営する株式会社フジと業務提携を開始し、当社の強みである指導ノウハウやプログラム、運営管理方法等を提供して、地域に根ざしたスポーツクラブの運営をバックアップいたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、48,328百万円(前期比3.0%増)、経常利益は2,276百万円(前期比8.6%減)、当期純利益は1,207百万円(前期比6.0%減)となりました。

中長期的な経営戦略 *Medium to Long Term Strategies*

次期の見通しについては、国内需要が堅調に推移し、海外経済の改善による輸出の増加も見込まれるなど緩やかな景気回復が期待されます。このような認識の中、あらゆる年代のお客様のニーズにお応えできるよう、他社との差別化を図り、科学的・医学的側面からの研究を続け、より多くの方々満足できる質の高いプログラムの提供を続けてまいります。特に、お客様一人ひとりへのきめ細かなサービスの提供とその充実を目指し、パーソナルトレーナーの育成など、スタッフ教育にお一層注力してまいります。

当社グループの提唱する健康とは、肉体的にはもちろん、精神的かつ社会的な健康を意味しています。高齢化社会を迎えた今日の日本では快適で満足できる社会生活を送るため、あらゆる年齢の方々の健康が大切であると再認識しております。国としても国民医療費の抑制が大きな課題となり、ますます健康・運動の重要性が高まり、私共の果たす役割も大きくなっています。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、所属選手のオリンピック出場とメダル獲得を目指すことにより、より多くの方々にスポーツに親しんでいただける環境づくりにも力を入れ、普及・振興に貢献してまいります。具体的には、競泳選手層の強化と底辺の拡大を目的に「選手育成コース」を2014年5月より新たに51店舗追加し、世界に通用するアスリートの育成強化を行います。

次期の業績につきましては、連結売上高51,200百万円(当期比5.9%増)、連結経常利益2,580百万円(当期比13.3%増)、連結当期純利益1,330百万円(当期比10.1%増)を見込んでおります。今後とも、株主の皆様を中心にすべてのステークホルダーの期待に見合う収益の実現を目指し、業績の進捗状況に応じて配当性向などを勘案して、利益還元を積極的に行ってまいります。

皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Central Sports News & Top ics

「第90回日本選手権水泳競技大会」結果報告 パンパシフィック大会&アジア大会代表決定!

2014年4月10日～13日、第90回日本選手権水泳競技大会が開催され、セントラルスポーツ研究所所属の小日向一輝選手が200m平泳ぎで、神村万里恵選手が200m背泳ぎで優勝しました。第2位に5選手、第3位にも2選手が入り、この結果小日向一輝選手、寺村美穂選手、平井健太選手、小堀勇氣選手が第12回パンパシフィック大会(8月・オーストラリア)と第17回アジア大会(9月・韓国)の日本代表に決定しました。

写真提供：アフロスポーツ



こひなた かずき
小日向一輝選手
セントラルスポーツ研究所
男子200m平泳ぎ **優勝**



てらむら みほ
寺村美穂選手
セントラルスポーツ研究所
女子200m個人メドレー **2位**



ひらいわ けんた
平井健太選手
セントラルスポーツ研究所
男子200mバタフライ **2位**



こほり ゆうき
小堀勇氣選手
セントラルスポーツ研究所
男子200m自由形 **3位**



かみむら まりえ
神村万里恵選手
セントラルウェルネスクラス成瀬
女子200m背泳ぎ **優勝**



いなだ のりこ
稲田法子選手
セントラルスポーツ
女子50m背泳ぎ **2位**

やまざき みさと
山崎美里選手
セントラルフィットネスクラス目黒
女子50mバタフライ **3位**



まつしま みな
松島美菜選手
セントラルスポーツ研究所
女子50m平泳ぎ **2位**

いとう はるの
伊藤悠乃選手
セントラルフィットネスクラス藤が丘
女子200mバタフライ **2位**

「第7回ハープリレーマラソンin西武園競輪場」を開催

2014年6月1日(日)会場を国立競技場から西武園競輪場に移し、競輪場ならではの变化に富んだコースで開催。種目は20km(ハーフ)と10km。1チーム4名~10名でたすきをつなぎ、みんなの心がひとつになる笑顔いっぱいのイベントとなりました。



★おすすめプログラム

セントラルスポーツが
オススメする旬のプログラムを紹介!

筋膜をほぐし、動けるカラダを手に入れる!

今までにない新しいテクニックを取り入れたレッスン新登場。凝り固まった筋膜をほぐし、動きを良くするトレーニングを行います。ケガや痛みを予防・改善したい人や、よりアクティブに動きたい人にオススメです。



Smooth Motion
スムーズモーション

1Lesson 40分



筋膜ほぐし

ボールを使い、筋肉を包んでいる膜をほぐします。



コアトレーニング

動きの土台となる体幹部を安定させます。



アクティブトレーニング

スムーズになったカラダでしっかり動きます。

リズムでシェイプ! 心まで踊りだす!



水の特性を活かし、足腰にあまり負担をかけることなく適度な運動ができます。音楽と振付に夢中になるうちに、体力アップとストレス解消! 泳ぐのが苦手な方でもご参加いただけます。

1Lesson 30分

流行のKENDAMA 新感覚のプログラム!

けん玉の技の練習や、けん玉をやりながら足腰強化などのエクササイズを行うプログラムです。遊びながら適度な運動を楽しみましょう。集中力、反射神経を養いたい方にもオススメ。

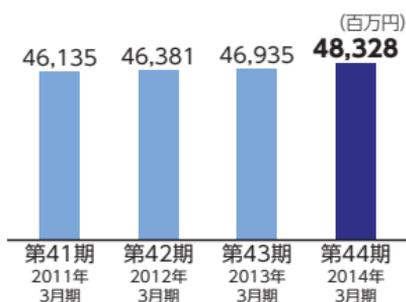


1Lesson 20分・30分

KENDAMA
FITNESS

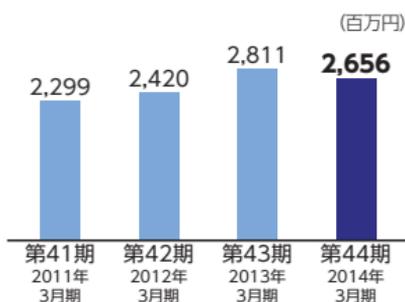
売上高

48,328百万円
(前期比3.0%増)



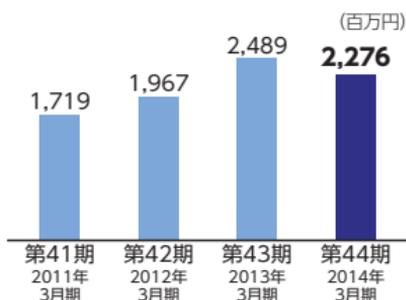
営業利益

2,656百万円
(前期比5.5%減)



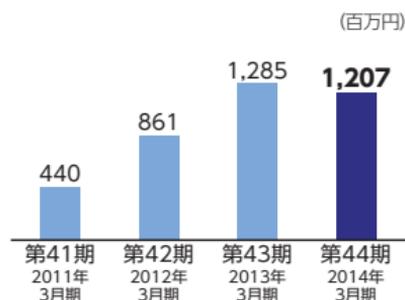
経常利益

2,276百万円
(前期比8.6%減)



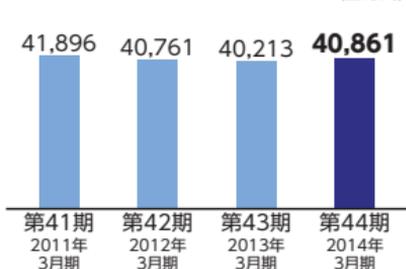
当期純利益

1,207百万円
(前期比6.0%減)



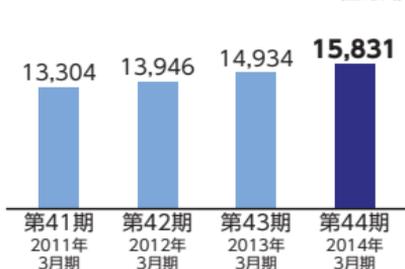
総資産

40,861百万円
(百万円)



純資産

15,831百万円
(百万円)



1株当たり純資産

1,379.90円
(円)



1株当たり配当額

35.00円
(円)



スポーツの楽しさを伝え、健やかな成長をお手伝い

スクール事業

セントラルスポーツは、創業以来、40年以上にわたって子どもたちのスクール事業を行ってきました。運動能力の向上のみならず、社会性や自主性、積極性などを育み、子どもたちの健やかな成長と可能性を広げるお手伝いをしています。



スイミングスクール



体育スクール



ダンススクール

心とカラダを元気にする、健やかなフィットネスライフの提案

フィットネス事業

フィットネスクラブを開設してから30年余り。充実した運動設備とあらゆる年代のニーズに応えるプログラムやサービスを提供。また、温浴施設やエステなどのボディケア施設を充実させた“ウェルネスクラブ”を展開し、リラクゼーションやコミュニティのための空間を提供しています。



プログラム



サービス



ボディケア

楽しみながら健康づくり、旅に出かける皆様をサポート

レジャー関連事業

マリンスポーツやお子様向けキャンプ・旅行、楽しみながらの健康づくり、旅に出かける皆様をサポートする国内・海外旅行など、あらゆる年代に向けたスポーツ体験ツアー、イベントを開催、豊かなライフスタイルを提案する事業を展開しています。



ランニング



スクーバダイビング



スキー&スノーボード

企業や地域の健康とコミュニティ形成を応援する

法人事業

企業や健康保険組合に向けた各種サービスを提供。企業の社員やご家族の皆様にも全国でお使いいただける「エリア法人会員システム」。また「健康セミナー」や「出張レッスン」、「各種健康測定」などを企画運営、健康に対する意識を高め、健康増進や生産性向上をサポートしています。



「スポーツクラブのパイオニアだからできる」介護予防サービス

介護予防事業

高齢化の進展に合わせ、セントラルスポーツ研究所で科学的に裏付けられた介護予防プログラムを開発。「運動器の機能向上教室」や「認知症予防教室」などのプログラムを多くの自治体から受託しています。また、介護予防にかかわる人材育成も全国で研修や養成講座を開催しています。



医学・スポーツ科学の見地からさまざまな研究やプログラムを開発

セントラルスポーツ研究所

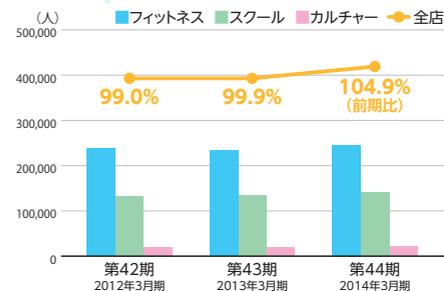
1982年、セントラルスポーツは民間企業として初めて、独自に研究所を設立しました。医学・スポーツ科学の見地からさまざまな研究やプログラム開発を行い、その成果は各クラブでの科学的根拠に基づいたスポーツ指導や、オリンピック選手の育成等に活かされています。



CENTRAL SPORTS Group

店舗数	(2014年3月31日現在)
直営	121店舗
受託	61店舗
その他	12店舗
合計	194店舗

会員数の推移 (2014年3月31日現在)



会社概要

(2014年3月31日現在)

社 名 セントラルスポーツ株式会社
CENTRAL SPORTS CO.,LTD.

設 立 1970年5月13日

資 本 金 2,261,170,100円

従 業 員 数 1,014名

主 な 事 業 内 容 スポーツクラブ経営事業

主 要 な 関 係 会 社 セントラルトラスト株式会社
株式会社明治スポーツプラザ
ケージースセントラルスポーツ株式会社
パレスセントラルスポーツ株式会社
Central Sports U.S.A.,Inc.
Meridian Central,Inc.
Wellbridge Central,Inc.

株式の状況

(2014年3月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数 42,164,000株

発 行 済 株 式 総 数 11,466,300株

株 主 数 17,948名 (前期末比2,413名増)

役員・執行役員

(2014年6月1日現在)

代表取締役会長 後藤 忠治 執 行 役 員 相川 正男

代表取締役社長 後藤 聖治 執 行 役 員 川尻 智洋

専務取締役 山崎 幸雄 執 行 役 員 木本 匡

常務取締役 鈴木 陽二 執 行 役 員 河本 勝

常務取締役 刀禰 精之 執 行 役 員 岡村 浩

取 締 役 矢田 恭一 執 行 役 員 坂上 直樹

取締役相談役 村井 良孝 執 行 役 員 鶴田 一彦

取締役相談役 後藤 守機 執 行 役 員 坂中 康二

取締役相談役 中澤 眞逸 執 行 役 員 松田 友治

常勤監査役 井本 隆 執 行 役 員 三枝 佳紀

常勤監査役 濱田 浩

監 査 役 川村 延彦*

監 査 役 佐々木時輝*

※は社外監査役

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
郵便物送付先 お問合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 (当社ホームページに掲載) http://www.central.co.jp ※事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

●各種手続きのお申出先

・未払配当金のお支払い

株主名簿管理人である日本証券代行株式会社へお申出ください。

- ・住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である
日本証券代行株式会社へお申出ください。

ホームページのご案内



当社では、株主の皆様当社をご理解いただくために役に立つさまざまな情報をホームページにてご提供しています。ぜひアクセスいただきご覧ください。

<http://www.central.co.jp>

セントラルスポーツ

検索 

全国のセントラルスポーツの
店舗で使える優待券がもらえる!



セントラルスポーツの株主優待制度

	ご所有株式数	発行枚数	発行回数	発行基準日
一般株主	1単元 (100株) ~	3枚	年2回	3月末日 (6月上旬発送)
	2単元 (200株) 以上一律	6枚		9月末日 (12月上旬発送)
	ご所有株式数	発行枚数	発行回数	発行基準日
会員株主	1単元 (100株) ~	3枚	年2回	3月末日 (6月上旬発送)
	2単元 (200株) ~	6枚		9月末日 (12月上旬発送)
	3単元 (300株) 以上一律	10枚		

※会員株主とは、発行基準日（権利確定日）時点で、当社各店舗の個人会員として在籍されている株主の皆様のことです。

優待券の有効期間

3月末確定分（6月上旬発送） …… 7月1日～12月31日

9月末確定分（12月上旬発送） …… 翌年1月1日～6月30日

ご優待内容

株主ご優待券1枚で、下記の優待内容からお好きなものを1つご利用頂きます。※各店舗により、ご利用頂ける内容が異なります。

- 1 施設入館1日無料
- 2 入会金無料
- 3 プロショップ商品割引
- 4 フィットネスチェック&カウンセリング (要予約)
- 5 お子様向け短期教室受講料割引
- 6 ダイビングライセンス (Cカード) 取得割引
- 7 直営エステサロン「OCEAN SPA」割引 (要予約)
- 8 「ダイエットプラス1」割引 (要予約)
- 9 旅行商品割引

会員様には
さらなる特典が!

会員株主特典

権利確定時点でセントラルスポーツ・ザバススポーツクラブ各店舗の個人会員として在籍されている株主の皆様は、上記ご優待内容に加えて、株主ご優待券1枚で下記の会員株主特典を受けることができます。

※各店舗により、ご利用頂ける内容が異なります。

- 1 有料プログラム1回無料体験
- 2 当社オリジナルツアーに抽選でご招待
- 3 健康関連商品との引換

株主優待の詳細な情報は当社ホームページをご覧ください



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



本冊子は、環境保全のため植物油インキで印刷しています。